

事前のお知らせ



スポーツ祭東京2013 全国障害者スポーツ大会

“ソフトボール”と“フットベースボール”

競技を同時開催!

と き 10月12日(土)午後3時15分試合開始~14日(月祝)午前11時30分終了予定

ところ 都立光が丘公園野球場(光が丘4-1-1)

12日から14日にかけて、第13回全国障害者スポーツ大会のソフトボール、フットベースボール競技を開催する。会場となる都立光が丘公園野球場は、試合会場が4面あり、ソフトボール、フットベースボールの両競技で2面ずつ使用し同時進行で大会を実施する。ソフトボールは宮城県、横浜市、岐阜県、滋賀県、岡山県、長崎県、東京都の7チーム、フットベースボールは岩手県、埼玉県、静岡県、神戸市、山口県、熊本県、東京都の7チームが参加する。

東京都は、第11回の山口大会で両競技優勝するなど強豪チームであり、地元開催の今大会でも好成績が期待されている。



【競技補助員・大会ボランティア】

競技補助員として都立第四商業高等学校、都立光丘高等学校、都立田柄高等学校の生徒約60名が、ファールボールの回収や、グラウンド整備などで競技運営をサポートする。

また大会運営ボランティアとして区民ボランティア、ボーイスカウト約60名も参加する。大会受付や弁当配布などを行い、裏方として選手や大会関係者をサポートする。

【競技について】

本大会には知的障害のある選手、計200名が出場する。ソフトボールは一般のルールとほぼ同じだが、振り逃げ、盗塁、スクイズ(3塁ランナーがいるときのバント)は認められない。

フットベースボールはゴム製のサッカーボールを使って行う。ピッチャーは両手でボールを転がし、キッカーはそのボールを蹴る。蹴った後はソフトボールのルールを基本とする。守備側がピッチャーズサークル内でボールを保持するとランナーの進塁がストップされる「停止球」というルールもあるため、いかにピッチャーズサークルまで早くボールを運ぶかが重要となり、チームの連携、駆け引きが求められる。

【全国障害者スポーツ大会とは】

国体終了後に国体の開催県で行われる障害者スポーツの全国的な祭典。障害のある選手が、競技などを通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としている。主催は、厚生労働省、財団法人日本障害者スポーツ協会、開催地都道府県・指定都市、開催地区市町村。

【過去の東京都の戦績】

ソフトボール (第11回) 山口大会→優勝 (第12回) 岐阜大会→1回戦敗退
フットベースボール (第11回) 山口大会→優勝 (第12回) 岐阜大会→準優勝

【問い合わせ】

区民生活事業本部地域文化部スポーツ振興課 国体準備担当係 電話 03-5984-3555